

オンリーワン



バリアフリー
ペーパー

12月号

平成 23年12月20日発行

偶数月発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障害当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。



季節の移り変わりとともに、あっという間に一年の最後の月、師走になりました。寒い冬に向かいますが、年末年始を明るくのんびりとお過ごしください。「みんなちがって、みんないい」童謡詩人の金子みすゞさんの言葉のように、すべての命が「オンリーワン」で唯一無二の人生を送っていることに喜びと感謝の気持ちを込めて、オンリーワン12月号をお届けします。（支援センター 武市）

平成 23 年度障がい者パソコン講座

平成 23 年度障がい者パソコン講座を開催し、オンリーワンの皆さんが講師を担当してくれました。



参加者の感想を一部紹介します。

宝の箱のパソコンを今まで使わず置き去りにしていたけど、少しずつ宝物が自分の物になってワクワクしています。ありがとうございます。（ナビ）

初めてパソコンをして、なかなか便利な点がある反面、使いこなすにはかなりの努力が必要であるということがわかりました。（T）

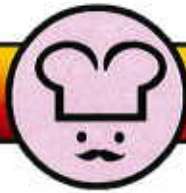
体調が悪く、ガン手術から1年でポリープ発生、とても続けられないと思っていましたが、皆様のご協力で最後まで参加でき、次のステップに大変自信になりました。（伊藤）



全然できなかったパソコンがおもしろいという事に気づき、毎週楽しみでした。また来年も参加して勉強したいです。（Y）

ほんとに良い人達と一緒に勉強ができて楽しかった。またこんな機会があれば是非参加させてほしいと思っています。ありがとうございました。（宮崎）





当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

優しい居場所「てんまり」

今回は、毎週日曜日、西条市壬生川の民家を活動拠点に、高齢者や障がい者が集まれる居場所作りを目的とし、自主的な活動を続けてきた「てんまり」をたずねました。

敷地内に入ると、楽しそうな笑い声。代表の岡野さんをはじめ、介護関係の仕事に携わる元気な女性メンバーが中心となり、高齢者、障がい者、ご近所の人など約15名で活動中とのこと。日頃「(仕事や施設が休みの)日曜日に気兼ねなく行ける場所が欲しい」「料理もできるようになりたい」など、ハンディを持った人が参加できる場所は少ないとの声を耳にします。ここは当事者の味方です!!みなさんにご紹介します。

「てんまり」は、活動を始めて約6年になるそうですが、これまで補助金はなく、みんなの持ち寄りや会費などで地道に活動してきました。今年、活動の一部を「おてだま」として立ち上げ、社会福祉協議会の「ふれあい・いきいきサロン」に登録し、助成を利用できるようになったそうです。

制度では対応できない高齢者や障がい者のニーズに合わせ、枠組みにとらわれなくて集まれる場所が欲しいと始めた「てんまり」。岡野さん達が目指しているのは、介護する側とされる側を区別しないということです。「ここでは、お客さんではなくて、自分にできることをしてもらおう事を大切にしています。小さい子の子守りをする人、数を数える人、参加者の名簿を作る人、お茶を配る人など。やはり、自分にやることのあるのがいいのかなあ。ここに来るようになってから表情がやわらかくなっていかれることが嬉しい。」と岡野さんは話されていました。



上手な包丁さばきの森本さん



みんなで準備中

主な活動は、自分達で昼ごはんを作り、それをみんなで食べるという事です。当初は、食事は作っておらず、集まってお茶を飲みながらおしゃべりをする活動でした。障がい者のメンバーである森本政美さん(道前育成園)の、「将来施設を出て自立したい」との想いをかなえる為に何が必要かみんなで考えたそうです。お料理が出来たらみんなも喜ぶのでは・・・との考えから、料理を作り、お食事会をするようになりました。森本さんは「はじめは包丁が怖くて使えなかった。

教えてもらって料理が出来るようになってよかった。」と嬉しそうに話してくれました。包丁の使い方、配膳の仕方も絵に書いて教えてくれたとのこと。今では、周りの様子を見ながら自主的に動いてくれるような気配りのできる人に成長されたそうです。



「品数も多く、お味も薄味で美味しく、季節の物も出てくるのでいつも楽しみにしている」と大好評のお食事

近年、さらなる展開も。てんまりの高齢者の中に、制度のサービスだけでは足りず、家族も疲れている人がいたそうです。認知症があるので、知っている人なら本人も安心してすごすことができるが、知人にちょっとしたお手伝いを頼むことは案外難しい。そのようなメンバーに対して、有償ボランティアという形で訪問のお手伝いもはじめたとのこと。メンバーの困りごとに直面しながら柔軟に形を変化させていく「てんまり」の活動。今後も忙しくなりそうで、一緒に活動してくれる人や、賛助会員として支えてくれる人を募集しています。一度のぞいてみてくださいね。

(取材を通じて感じたこと)
 「てんまり」のように心優しい人たちが集い、それぞれを尊重し、それぞれが役目を果たすようなところがもっと出来たらいいのに・・・
 人に必要とされることは、集まっている人たちだけでなく誰にも励みになったり、人間は一人ではなく大勢の人に係わって沢山の「絆」の中で生きているんだと感じました。
 来年は、もっと「心」に優しい事がたくさんあるように願っています。(徳増)

名 称	”てんまり”
活動拠点	西条市壬生川小学校の西隣
日 時	日曜日 10:00~15:00 くらい
費 用	1回 200円程度(食事代として)
内 容	料理作り、お花見、クリスマス会など 第3日曜はお食事会
問い合わせ先	0898-64-1626 (岡野さん)



(イラスト しんすけ)



のぶちゃん・おーちゃんのべすとしょっと



「野良時計」

124年前（明治20年）畠中源馬氏がアメリカ産の掛け時計を分解して研究し、すべての部品をたった一人で作り上げた時計だそうで、熱意と歴史を感じました！（西条文化協会の研修旅行：高知県安芸市の史跡見学にて）

撮影：のぶちゃん

投稿コーナー「たしっぽ」

若き日は不幸ばかりが目につけり
年古りて知る幸せの意味

美奈子

※年古り＝（としふり）年月がたって古びるという意味

今月号から不定期に、俳句や川柳・エッセイなど皆さんからの投稿を掲載していきたいと思えます。オンリーワンメンバーにコーナーの名前を募集したところ「たしっぽ」という提案があり、採用となりました。みなさんの日ごろの思いをオンリーワン紙面でつぶやいてみませんか？

編集後記 背中で感じる風がめっきり冷たくなり、師走の足音がひしひしと聞こえてきます。今年の東日本大震災で被災をされた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

ニュースで流れる震災の爪痕に心が痛みますが、私達にしか出来ない社会貢献と社会参加を目指して前向きに歩んで行きたいと思えます。来年も機関誌オンリーワンをよろしく願います。（梅野）



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600（代） FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp